

令和3年度第2回三重県看護職員確保対策検討会 議事概要

開催日時：令和4年2月18日（金）19:00～20:30

開催場所：Zoom ミーティング又は

三重県合同ビル1階 G101 会議室

出席者：堀委員（会長）、菱沼委員（副会長）、
小倉委員、加藤委員、小西委員、阪本委員、
谷委員、辻井委員、中谷委員、廣野委員、
松本委員、柳川委員

<議題>

1、 今後の看護職員新規養成者の確保について 資料1

【意見】

- 学生の傾向として、大学への進学が増えており、将来的には廃校を危惧している。専門学校ならではの魅力を発信していく必要がある。
- 現状どおり看護の魅力伝えていくだけではなく、離職防止の対策をもっと重点的に考えていく必要があると思う。
- 介護現場では外国人材の受入を積極的に行っているが、優秀な人材を看護職にも導けるような政策も県で考えていくべきである。
- 看護職に魅力を感じてもらうため、高校生に対するアプローチ等今後も県を挙げて行っていただきたい。

2、 訪問看護師の育成について 資料2

【意見】

- 訪問看護ステーションは小規模のところが多く、新任訪問看護師等就労支援事業の1人あたりの補助金額をもっと増やすべきだと思う。
- ⇒ご指摘のとおりと認識はしている。令和4年度の執行状況をみながら令和5年度について検討していきたい。
- 訪問看護ステーションの実態や要望について把握できていない部分が多いため、ぜひ調査を行い今後に向けた対策を考えていただきたい。

3、 その他 資料3

看護職員等処遇改善事業補助金について

【意見】

○今回補助金の対象となっている病院以外にも、新型コロナウイルスに関わる業務を行っているところは多くある。今後は全ての医療機関で処遇改善ができるよう要望していただきたい。

以上